

## Ⅱ 教育行政に臨む基本姿勢

北海道教育委員会といたしましては、こうした認識の下、これからの社会を担う子どもたちが、自立し、ともに支え合うという共生の精神を持って、希望あふれる未来を築いていくことができるよう、二つの目標を掲げ取り組んでまいります。

第一は、「学力の向上とその基盤となる豊かな心、健やかな体の育成」であります。

子どもたちが自らの可能性を信じ、着実に歩を進めていくことができるよう、子どもたち一人ひとりに生きる力、知・徳・体を総合的に育むことが必要であります。

子どもたちが学びへの興味・関心や楽しさを実感する中で、基礎的・基本的な知識や技能を確実に身に付けるとともに、それらを活用して実践する力などの育成に取り組んでまいります。

また、社会のルールや規範を学ぶとともに、命を<sup>とうと</sup>尊び、相手を思いやる心を育てるため、道徳教育をはじめ様々な体験活動や読書活動の一層の充実を図ってまいります。

健康・体力は、すべての活動の源であり、健やかでたくましい体を育成するため、子どもたちの発達段階に応じた健康増進・体力向上に取り組んでまいります。

第二は「信頼される学校づくりと家庭・地域の教育力の向上」であります。

子どもたちを取り巻く環境がめまぐるしく変化する中、複雑・多岐にわたる教育課題を解決していくためには、社会総がかりで子どもたちを見守り、育てていくことが必要であります。

このため、子どもたちの学びの中心となる学校、子育ての基盤となる家庭、人間性や社会性を涵養する場となる地域が、互いに連携し、それぞれの役割をしっかりと果たすことができるよう取り組んでまいります。